

千葉大学感染症情報 2013-2014 シーズン 第3報

【インフルエンザ・H5N1 インフルエンザ】

手洗い・うがい・咳エチケット！

2013年第52週では、いくつかの自治体で流行注意報が出始めています。流行期に入っていると推測されますので、手洗い・うがい・咳エチケットの励行をお願いします。

H5N1 インフルエンザの死亡例がカナダで報告されました。北京への渡航例と報道されています。H5N1 流行地域へ渡航する際には、鳥に直接接触ったり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄ったりしないようにしましょう。入国時に、発熱、咳、のどの痛みなどの症状がある場合は検疫所に相談してください。

【結核】

2週間以上咳が続く場合には、検査を受けましょう！

結核を知ることが予防への第一歩。早期発見・早期治療は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。

詳しく知りたい方はこちら（結核予防会HP）

→



以下のような場合には、各地区保健室へご連絡・お訪ねください。

1) 2週間以上咳・痰・微熱などが続く。

2) 身近な人が結核と診断されたので、自分も感染していないか心配である。

本学の学生・教職員の皆さんは、西千葉保健管理棟で医師（日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医）に相談することができます。必要に応じて、胸部レントゲン検査を行うことも可能です。

【麻しん・風しん】

MRワクチンを中1もしくは高3で打っていない方は追加接種を！

麻しんは、予防接種漏れ者を発端とする集団感染事例が報告されています。また、流行国に渡航時に感染した場合、帰国できなくなるおそれがあります。風しんは、2013年からの流行がだらだらと続いています。中1もしくは高3に相当する年齢でMRワクチンを接種していない方は、追加接種をお勧めします。